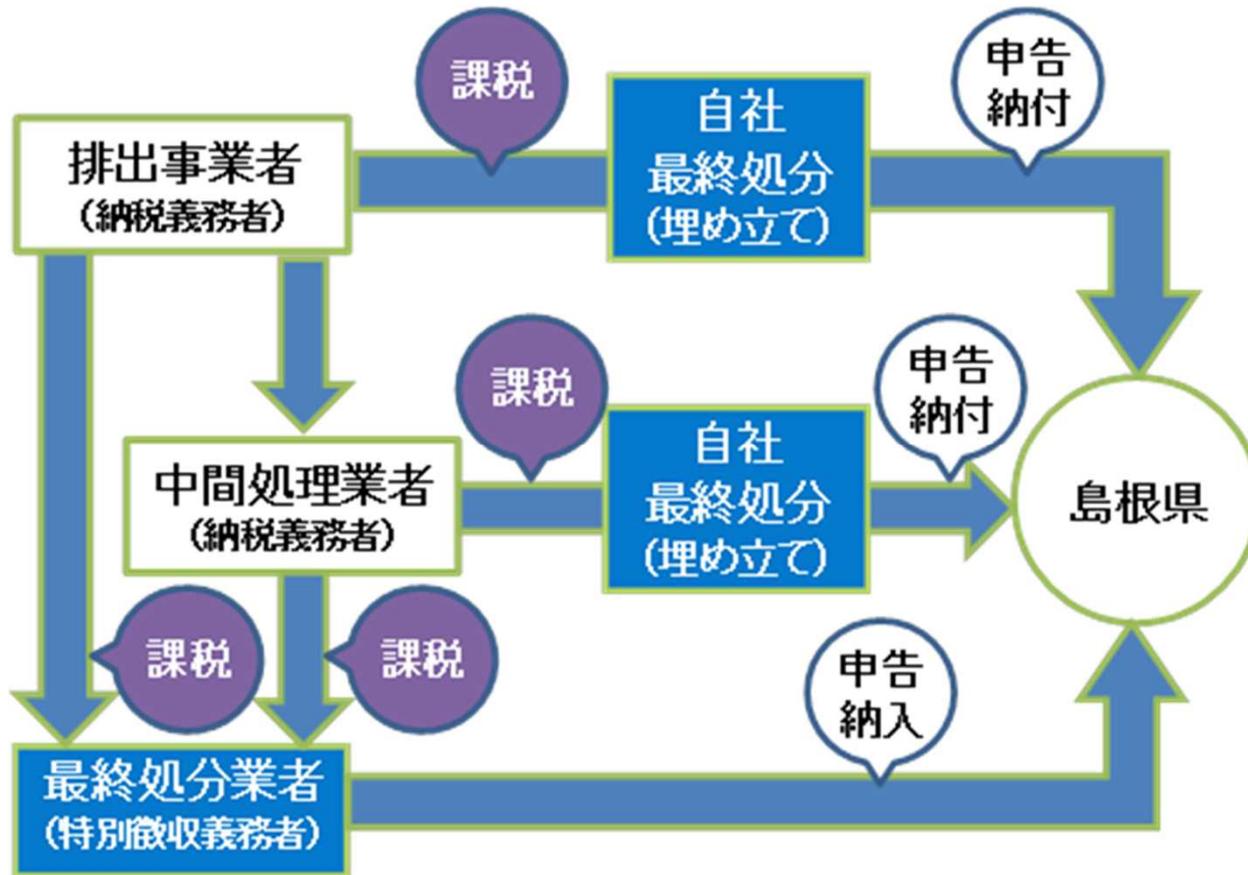


## 平成27年度 産業廃棄物減量税を活用した支援施策の概要

# 島根県産業廃棄物減量税の課税と納税の仕組み



## ●納める人

県内の最終処分場に産業廃棄物を搬入する排出事業者又は中間処理業者

## ●納める額

最終処分場に搬入された産業廃棄物の搬入量1トンあたり1,000円

## ●徴収方法

- \* 特別徴収義務者(最終処分業者)からの申告納入
- \* 自社処分の場合は申告納付

**島根県では、平成27年度から5年間継続される産業廃棄物減量税を活用し、次の3つの施策を推進します**

**①事業者の再資源化等への支援**

- ・産業廃棄物の発生抑制や再生利用等の技術開発、施設・設備の整備**
- ・リサイクル製品の販路開拓 など**

**②適正処理の推進**

- ・不法投棄防止対策**
- ・産業廃棄物の適正処理の指導 など**

**③環境教育の推進**

- ・現場体験型の環境教育**
- ・社員教育への支援**
- ・県民への3Rの普及、税制度の周知・啓発 など**

## 事業者が取り組む研究開発を支援します

産業廃棄物の発生抑制・減量化・再生利用等に関する基礎研究  
を産業技術センターで実施します

### ● 規格外瓦



製造ラインから取り除かれる規格外瓦



瓦粉碎物

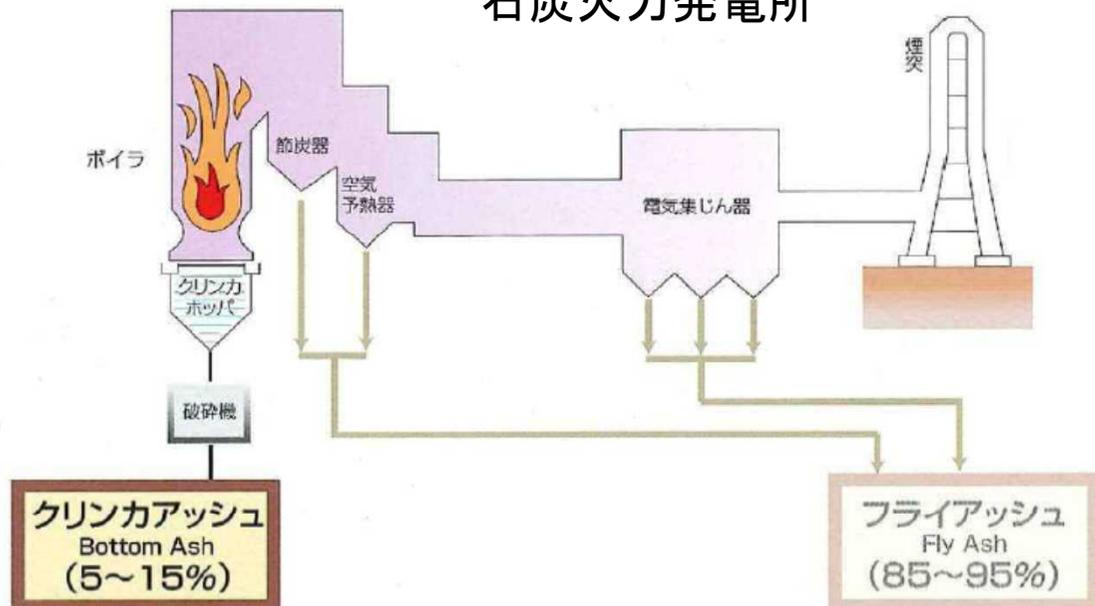


規格外瓦粉碎物を配合した鉄筋コンクリート床板

規格外瓦粉碎物を配合した被覆ブロック

# ● 石炭灰

## 石炭火力発電所



燃焼ボイラ内の高温の石炭灰が溶けて凝集し、ボイラ底部の水槽に落下し堆積したもの



燃焼ボイラ内の高温の燃焼ガス中を浮遊する石炭灰を電気集じん機で集めたもの

フライアッシュに含まれる未燃焼カーボンを除去するシステムの開発とコンクリートへの利用を研究



試作したFA洗浄装置の外観

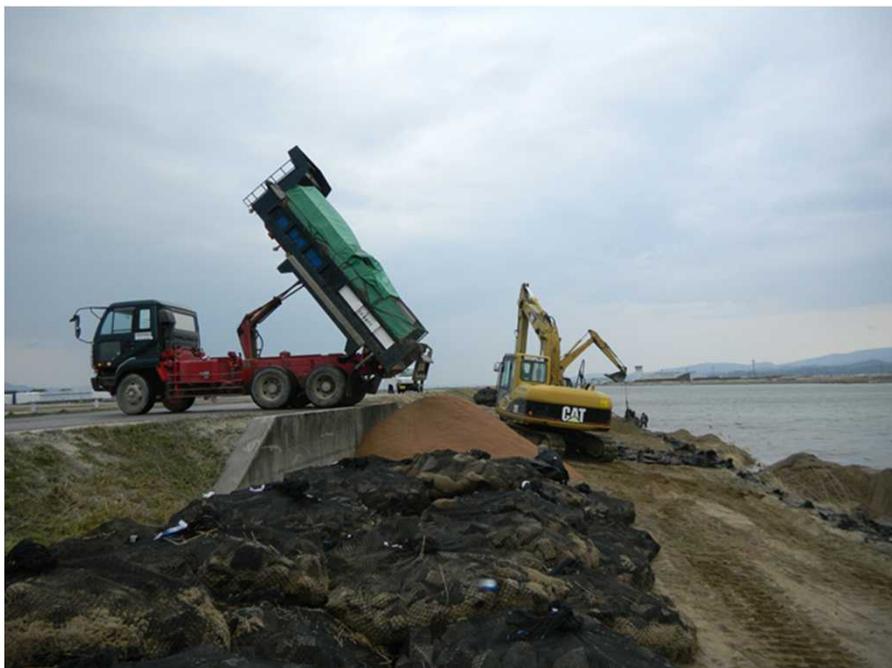
## 産業技術センター「資源循環型基礎研究」テーマ (H27)

- ① 業務用廃食油のBDF燃料としての有効活用
- ② 再生油製造過程で発生する廃油洗水・汚泥の安価な処理技術開発と燃料としての活用
- ③ 規格外瓦粉碎物を粗骨材として活用したコンクリート2次製品の耐凍害性の評価・向上
- ④ フライアッシュの未燃カーボン除去によるコンクリート製品への活用
- ⑤ メッキスラッジに含有する金属成分をNi系材料として有効活用
- ⑥ 製鋼スラグの固化造粒による土木資材としての有効活用
- ⑦ 酒粕・醤油粕・魚のあらなど食品系残渣の養魚飼料等への有効活用

## 事業者が取り組む技術開発を支援します

産業廃棄物の発生抑制・減量化・再生利用等に関する技術開発・事業化可能性調査に係る経費を補助します(研究開発:補助率 2/3、上限 10,000千円  
FS調査:補助率2/3、上限2,000千円)

\* 排出事業者だけでなく、県内で事業所を有する事業者であれば、リサイクルに取り組む事業者単独で申請可【要件緩和】



十四間川でのセラミックサンド覆砂作業



家庭用食用油(天ぷら油など)を重油混合した新・バイオ再生油の開発

## 事業者が取り組む施設整備への支援を充実強化します

産業廃棄物の発生抑制、再生利用等による産業廃棄物の減量その他産業廃棄物の適正な処理の促進に係る施設・設備に要する経費を補助します  
(補助率1/3、上限20,000千円(ただし、複数の機能を有する施設については30,000千円【**拡充**】)



混合廃棄物精選設備



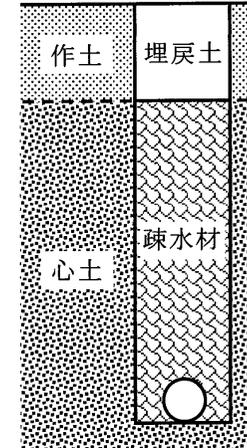
がれき類の破砕施設

# 産業廃棄物の減量化を推進するため、公共調達及び民需で「しまねグリーン製品」の利活用が進むよう販路開拓支援を充実強化します

県事業	
事業名	利活用可能性調査のためのモデル実証【新規】
概要	しまねグリーン製品の先駆的な利活用方法を実証するため、試行的に公共調達を実施
事業例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瓦粉碎物の暗渠排水疎水材モデル調査</li> <li>・植物性塗料塗布による間伐材利用促進モデル実証</li> <li>・瓦舗装、瓦碎石を使用した遊歩道施工モデル実証</li> </ul>



ほ場の排水性向上のための実証



植物系防腐剤兼塗料を塗布することにより、新設部材と既設部材の色合いを調整

事業名	利用実績づくりのためのモデル実証【新規】
概要	市町村がしまねグリーン製品を公共調達する場合(通常製品に比べ単価差があるようなケース)の事業費増嵩分をモデル的に補助
事業例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設や公園等の駐車場への瓦舗装</li> <li>・グラウンドへの石炭灰再生盛土</li> </ul>
補助対象	公共調達の経費増嵩分 10/10
上限額	500万円

ライトサンドは、石炭灰を破砕機で粉碎した、よう壁の裏込材、軽量盛土材。軽量で高いせん断強度を備え、排水性・通気性に富み、保水性もあるため、グラウンド等の排水材にも適します



瓦ックリートは、規格外の石州瓦を破砕・分粒し、舗装骨材として活用した舗装材。照り返しが少なく、透水性に優れ、滑りにくく、柔らかな色合いの自然に優しい瓦舗装として仕上がります



## しまねグリーン製品の商談展示会出展等の支援を拡充します

- ・認定を受けるための試験分析経費補助

補助率 1/2 上限 300千円

- ・販売促進支援補助【拡充】

補助率 1/2(初回申請2/3)

上限 500千円(初回申請600千円)

＊サンプル制作費、商談会出展時の販売促進費<sup>(注)</sup>など補助対象  
経費を拡充

(注) 通常製品に比べ価格が高いことなどの要件があります



2014NEW環境展への出展(東京ビッグサイト) しまねグリーン製品紹介コーナー(県庁)

# 後を絶たない不法投棄への対策や産業廃棄物の適正処理に向けた指導体制を強化します【拡充】

重点監視地域に監視カメラや啓発看板を増設します

廃棄物適正処理指導員を6保健所に配置し、排出事業者の適正処理の確認等徹底のための立入、PCB含有電気機器等保有事業者への制度周知、県境域への監視パトロール等、産業廃棄物の適正処理に向けた監視・指導体制を強化します



不法投棄現場



監視カメラ



啓発看板



パトロール

## 現場へ出掛けて体験する「現場体験型の環境教育」を推進します【新規】

これまでの県民向けリサイクル施設等のバスツアーに加え、廃棄物の3Rや適正処理に取り組む施設の見学、学校での講演会など産業廃棄物にウエイトを置いた環境教育を推進する、中学・高校、特別支援学校等に対して、その活動費を助成し、環境教育の場を提供します(上限額30万円/校)



自動車解体・リサイクル工場



火力発電所

# 事業者が実施する適正処理の理解を深めるための社員教育へ環境アドバイザーを派遣します【拡充】

環境への負荷を低減し持続的に発展する循環型社会を実現するため、環境問題に関する知識や豊富な経験を有する「しまね環境アドバイザー」を企業、学校、自治会等に派遣し、産業廃棄物の減量化や適正処理など環境教育を支援します



会社の研修で



学校の授業で

## ゴミゼロ社会に向けて

美しい島根の自然環境と豊かで恵まれた生活を未来に引き継いでいくためには、限りある資源を有効に活用する社会をつくっていかねければなりません

県では、産業廃棄物減量税を活用しながら、県民や事業者、NPO等と連携して、循環型社会の構築を目指していきます



拡大写真

石州瓦の粉砕物を使った歩道(江津市)